

# が ん ば

島三小育友会報  
行 部  
発 報  
広 報 部

【第86号】



## 平和を願って！

### 社会科見学

昨年度に引き続き、再び会長の大役を務めさせていただくこととなりました。しかし、会員の方々をはじめ、学校、地域社会の皆様方のご協力なしには、何ら実行に移すことは出来ません。

変らぬご指導とご協力を、お願い申し上げます。

先日読んだ本の中に、「教育とは、人と人が触れ合うなかで、互いに影響しあいながら人間形成を続けてゆき、その過程で人間的生活感情を共有しあう営みである。」とありました。

子どもは、学校で先生と同級生との触れ合いのなかで、知識技術を習得し、家庭では父母、兄弟との日常の触れ合いのなかで基本的な



## 家庭、学校、社会の中で

育友会長 小島 健一

人格(個性)を形成します。また地域社会では、同級生や年長者、年少者の間で、遊んだり、いたずらをしたりしながら創造性(やる気)を培うと共に、社会の一員として互いに決められたルールを守ることの大切さを学んでゆきます。

物事を正しいか否か、判断する力、正しくないと考えれば、それを阻止しようという勇氣、また経済的な豊かさや人間としての豊かな生き方との関係などを深く考える姿勢。これらの能力の養成は、家庭、学校、地域の、全生活をとおして、いわば人間全体として、健全に成長するように配慮されてはじめて可能な訳です。

このような役割を果たすものとして育友会の存在は重要、かつ必然的なものと考える次第であります。

重ねて皆様方のご協力をお願い申し上げます。

# 生活体験の広がりを!!



学校長 松本 直

小学生の頃、通った三小。そして、三十数年前、初めて教職に就いたときに勤めた三小です。再度お世話になることになりました。よろしくお願いいたします。

ことしも、昨年と同じように、

「よく考えて活動する子ども」

「すなおで心の美しい子ども」

「力を合わせてやりぬく子ども」

を指して、頭と心と、たくましい精神力を育てようと、全職員でがんばっております。

三小に勤務してから、二か月が過ぎますが、子どもたちは、明るく元気で、朝の元気のよいあいさつは、学校中に響き、気持ちのよい朝を迎えております。

昼のそうじ時間には、雑布をにぎって汗を流しております。家では、ふきそうじなど、ほとんどし

たことのない子どもたちではないかと思われます。

子どもを大事に育てることは当然のことですが、それが過保護とまで思われるようなことが数多く見られます。子どもに出来るようなことでも、親が手を出してしまふ。子どもは、それがあたりまえのこのように思っている。危ないとか、仕事が手間どるとかの理由はあると思われますが……。

生活体験が少ないために、簡単な生活技能(ナイフで果物の皮をむく。小刀で鉛筆をけずる。はしを正しく持つ。タオルをかたくしぼるなど)が身につかないまゝになつてゐる実状のようです。このことは、子どもが身につける機会を、親が、大人がうばつてゐるかあるいは、正しく教えこんで、訓練してないからと考えられます。生活習慣や生活技能を育てる場として、家庭でも、学校でもその機会をとらえて指導していかなければと思つております。

## 総点検を

副会長

松尾 正敏



「たまには子供や学校のことにと

## 子供の

## しあわせのために

副会長

佐々川 和子



本年度副会長という大役を仰せつかり、その任務の重さを痛感し

も関心を持って下さい。」と日頃、山の神様に云われている私が、今年度伝統ある三小育友会の副会長とは……恥ずかしさと不安がいつぱいというのが本心でありま

す。ようやく学校生活に慣れつつある低学年、そろそろ要領の解つた中学年、そして自覚が出て来た高学年と、各々に元氣いつぱい明るく素直な子供達です。そのまゝ大きく成長してほしいと思うのは全ての親の共通の願いでありましよう。

しかし、この子供達の中にも、中学生に成る頃には、いろいろな非行問題に関わる生徒が出て来るようです。

私達の責任分野である家庭教育の中にも一因があるのではないのでしょうか。即ち、子供に対して無関心では、逆に大事にし過ぎではけじめは、耐える心は、親子の信頼関係の維持は等々……私達大人が努力を怠り、子供の心の成長を阻害する要因になつていないのか、もう一度家庭内での総点検をする必要があると感じております。

ております。幸いにも経験豊富な

あります。

小島会長はじめ、やる気満々の松尾副会長のもとで、先生方や役員の皆様、そして会員の皆様と一緒活動し、勉強させていただきその任務を全うできる様一年間がんばって行きたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。さてPTAとは、「子供のしあわせと民主主義教育を守り高めるために、父母と教師が協力し、学習し行動する自主的団体である。」と

我が伝統ある三小は、PTA活動が盛んで今年も専門部ごとに行事計画がなされ、それをもとに地域におかれましても、町内代議員の皆様を中心に、独自の年間行事計画が立てられ、活動がすでに始まつてゐると思ひます。そこで会員の皆様は、PTA活動の主旨をふまえ、活動に参加して下さる姿が、子供のしあわせにつながるものと信じてやみません。

五年二組

松本信子



今年五年二組の担任になりました松本です。

# がんばります

三小に来て、まず驚いたのは、子供達の人数の多さです。今まで全校七十七名という五島の小さな島の学校にいた私にとって、体育館をうめつくす子供達の迫力はすごいものでした。また、先生方の一言で敏感に反応できる子供達を見て、どんな子供達なのか知りたくてわくわくしたものでした。

これからひとりでも多くの子供達と接し、いろいろなことを、共に学んでいきたいと思しますので、ご協力をよろしくお願い致します。

四年四組

松島利彦



緑の風に声あげて……。始業式の日、子どもたちと一緒に校歌を歌ったとき、母校へ赴任したことへの感動をしみじみ味わいました。

私たちの時代とは、ずいぶん子どもたちの様子も変わりましたが、ふつと毎日の子どもたちの中に、「三小っ子」の姿を見たとき、幼い頃の自分を見つけたようでなつかしい気がします。

母校の小さな小さな後輩たちのために、がんばらねばと、新たな心がまえで、情熱を傾けたいと念じております。

四年三組

吉岡美枝



大学を卒業してから、二ヶ月がたちました。長かったような、短かったような複雑な心境です。思えば去年の今頃は、教育実習で苦しんでいた時期で、初めての授業の前日など、緊張と不安でなかなか眠れなかったものです。それが今では毎日、授業をしているのですから不思議なものです。

三小にきての第一印象は、やっぱり「元気がいい」ということです。中でも、特に元気のいい四年生。しかし、負けてはいられません。この子たちにふりまわされないうにがんばりたいと思います。

三年二組

植木正彦



私は、南の島の大学で学びました。青い海、美しいサンゴ、あふれんばかりの星々を見ながら沖繩の琉球大学教育学部で、小学校の教師となるべく勉強してきました。

今度、やっと正式な教師となることができ、はりきっています。この第三小学校の子どもたちには、自分の考えをもち、それをはっきり言える子ども、他人を思いやれる子どもになってほしいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

一年一組

池田伊奈子



北有馬町の西正寺小学校から転勤してきました。住居は布津町で、三小まで車で二十五分かかります。全校児童五十八名の小規模校から大規模校の三小へ来て、とまどいと期待の交錯した気持ちで二ヶ月を過ごしました。

三小の子供は、自分の考えをはっきり言えるので、さすがは島原市内の子供だと感心しています。そんな第三小学校に勤務できることを誇りにし、今後も頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

五年一組

隈部昭三



桜、花開く四月、伝統ある島原市立第三小学校に勤務して早くも二ヶ月になろうとしています。早く三小の組織・機構になれ、心

身共に健やかな子ども達の成長のために、微力ではありますが、全力で頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

三年三組  
丸山 尚子



四月に島五小からまいりました。五年前まで、三小にいました。運動会終了後の後始末の手ぎわの良さや火事の翌朝、早くから机や椅子を洗ってくださったり、重い道具を運搬してくださった姿などが、昨日のようににはつきりと思い出されます。

また、ごいっしょする機会を得て、大へんうれしく思っています。元気な三小の子に負けないようにはりきってがんばりたいと思います。よろしくお願ひします。

一年三組  
菅 恵子



外を見ると若葉が美しく、心を

なごませてくれる季節になりました。早いもので、三小に勤務して二ヶ月がすぎようとしています。全校生徒八十四名、校舎の前がすぐ海、後ろが山という五島の小さな小学校からきた私は、何もかも違いすぎる現実には、とまどいながら毎日をすごしています。

しかし、接する子どもたちは、おだやかで、やさしく、私の心をホッとさせてくれます。こんな子どもたちと精一杯、頑張ろうと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。

五年四組  
米水 利一



この度、新任として母校三小に赴任してきました。三小には以前臨探の時、数ヶ月お世話になりました。その時のクラスが五年四組で、ちょうど職員室の真上の三階の教室でした。偶然とは恐しいもので、今度のクラスも同じ五年四組で、同じ教室です。まるで時間が逆行したように感じられます。

第三小学校は母校ゆえに、児童の特質・地域の環境など十分知っています。それらを生かし、それらを考慮した教育を旨としています。これからのよろしくお願ひいたします。



養護教諭

野口 仁子



今年四月から第三小学校に着任致しました。着任にあたって、前任校の約三倍という大規模校にとまどいを覚えました。自分で希望した学校に着任できたという事で大変うれしくなりました。また、同時に頑

張らねば……というやる気が湧いてきました。

養護教諭といえ、現在のところ一校に一人という実状ですので、色々な衛生面・健康面等の指導及び管理が大変ですが、頑張つて勤めたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

情緒障害児学級

元村 浩子



四小から今年、三小へ転勤になりました。三小は私の母校です。私が三小へ通う頃は、木造校舎があり、児童公園のあたりは白山でした。学校帰りに、れんげをつんだり、魚を追いかけた田んぼ道も今は影も形もありません。でも旧校舎はそのままです。子供達も明るく元気で素直なところが受け継がれている様で、始業式の朝、初めて見る私に大きな声であいさつをしてくれたことがとても印象的でした。

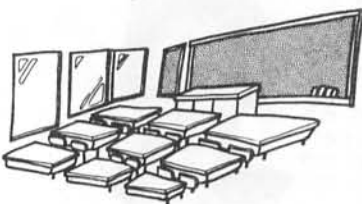
これから、多くの子供達とふれあい、いっしょにがんばっていきたいと思います。

音楽専科  
(産休補助)  
白山 敏恵



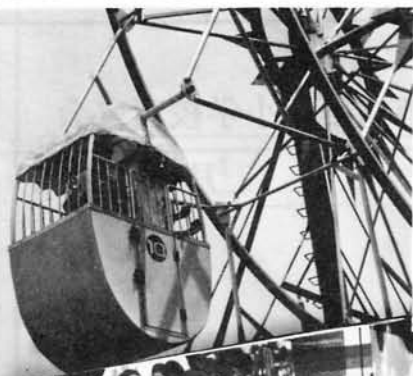
吉田尚子先生のかわりに、10クラスの音楽を担当しています。子どもたちは、音楽に対して、特に楽器を扱うことに対して、非常に興味を示します。子どもたちの今の気持ちを大切にしながら、いろいろな音楽活動に取り組んでいければと思っています。

まだ私自身に余裕がなく、一日を無我夢中で過ごしている状態ですが、自分なりに、音楽を通して子どもたちと仲よくなりたいと思っています。よろしくお願ひします。





# 思い出に残る修学旅行



## 阿蘇で学んだこと

六年 浜 本文徳

いよいよ、阿蘇、草千里の見学。バスの中でいったいどんな所だろうと心はずみましました。

阿蘇の火口は、とても大きく、吸いこまれるような急斜面で、その下からは、もくもくとけむりがでています。斜面を下へと見ていくと、落ちていくような気持ちになりました。さすが、阿蘇山だ、すばらしいなあ、と思いました。

バスで火口から下へ行き、博物館で、大パノラマの、「阿蘇の四季」を見ました。大自然の美しさ、こわさなどを強く感じました。

昼食をとり、草千里でもいっきりに遊びました。走っても、走ってもぜんぜん進まないように感じます。大草原の中央には、水がまんまんとはった湖があります。丘を登っても登っても頂上につきません。やっと着いた、と思ったら、まだまだ上に続いています。ここでも大自然の広さをまざまざとみせつけられました。

ほくは、阿蘇、草千里で、自然の美しさ、広さを学びました。

## 楽しかった草千里

六年 大町 朋美

「やーすごかー」。草千里を見た私たちは、思わずさげんでしまいました。写真撮影も終わり、遊んでも良いという合図が出ました。「やったあ」みんながさげびます。「やっちゃやきれかー」と私たちは初めてこんな大草原を見て、びっくりしました。こんなせまい日本にも、こんなに広い草原があるなんて、とてもしんじられませんか。美しい山々に囲まれた草千里は、まるで夢のようです。私は、この大草原を友達との湖まで、おもいっきり走りまわりました。

「山に行こう」と、みんな今までのつかれを忘れたように、はしやきまわって遊んでいます。私もおもいっきり走りまわりました。こんな緑の上を、おもいっきり走るなんて、想像したことがないのに、実際に自分が走っているんだと思うと、なんだか言葉では言い表せないような、とてもすがすがしい気分になります。走っても走ってもずっと続く大草原。今、頭の中でうかべて見ると、目の前に草千里が広がってくるようです。

修学旅行で、一番楽しかった草千里。また機会があったら、今度は家族であの大草原を走りたい。

# 予定一覧表

島原市立第三小学校育友会

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	・教育講演会					
		・父親参観				
			○———○ 冬休み校外補導		・生活標語募 集、配布	・初市巡視
・親子スポー ツの日 (14)	・運動会 ・町内対抗バ レーボール 大会 (26)					
	・がんばん88号 発行 (10月31日)		・がんばん89号 発行 (12月23日)			・がんばん90号 発行 (3月19日)
・5の日の交 通指導	・運動会時の 交通指導 ・自転車の正 しい乗り方 教室 (12)	・5の日の交 通指導	・5の日の交 通指導	・5の日の交 通指導	・5の日の交 通指導	・5の日の交 通指導
・市民清掃へ の協力	・5の日の交 通指導					
・保健関係行 事					・料理講習会	
・常任委員会 ・代議員会			・常任委員会 ・代議員会 ・中間監査	・常任委員会		・常任委員会 ・代議員会 ・監査

## 昭和61年度 年間行事

部	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
教 養			・研修旅行	○——○ 町内訪問	
学 級			・学級代議員研修会 <sup>(18)</sup> ・学年レクリエーションについては後日月の割当配分		
生 活			・生活標語募集、配布	○——○ 町内訪問	
体 育			・フットベースボールルール説明会 <sup>(21)</sup>	・子どもクラブ球技大会 <sup>(27)</sup>	・土俵整備
広 報		・がんばん86号発行	・学 習 会	・がんばん87号発行 (7月19日)	
交 通	・5の日の交通指導	・5の日の交通指導	・自転車点検 ・5の日の交通指導	・5の日の交通指導	・5の日の交通指導
環 境		・護美缶点検配布	・市民清掃への協力 <sup>(8)</sup> ・プール周辺除草作業 <sup>(14)</sup>		・土俵整備
保 健 給 食			・一年生試食会 <sup>(20)</sup>	・アンケート調査	
事務局 他	・常任委員会 ・代議員会 ・総 会	・常任委員会 ・代議員会 ・専門部長会	・常任委員会	・常任委員会 ・代議員会	

# がんば

## 専門部活動紹介

### 今年も多数の参加を



教養部長  
友永峰昭

教養部としましては、昨年「気軽に参加でき、有意義な育友会活動」をテーマに実施してまいりましたが、今年もこれを継続すると共に、さらに一層の充実を図りたいと思います。

行事計画は、昨年と同様で、次のとおりです。

- 六月 研修旅行
- 七・八月 町内訪問
- 十月 教育講演会
- 十一月 父親(父母)参観

特に研修旅行につきましては、昨年、多数の参加を頂いたことから、同様の方針で興味ある研修地

を計画致しておりますので、ふるって参加をお願いします。

そのほか、講演会につきましては、昨年話題となりました「いじめ」を取り上げましたが、今年もその時期に即応した社会問題等を背景にしたものを考えておりますので、ご意見等がありましたら、どしどしお願いします。

今年の教養部は十名で、先生方のご助言のもとスタートしました。地道に内容ある活動を目指したいと思っております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 一年間のお願い

学級部長



相良耕作

今年度、学級部の部長として、此の一年、皆様方とお付き合ひさせて頂く事になりましたが、育友会のなんたるかも良くわからない私としては、何をどうすればいいのか不安な気持です。しかし、学級部には素晴らしい経験の豊富な田中先生、諏訪副部長様を始め、部員の方々が色々指導・協力して頂く事が出来ますので、私は大舟に乗った様で心強く思っております。

さて本題にはいり、今年度の活動方針の方から述べていきたいと思っております。基本方針として一年をツイヤして、学級部とはどういう育友会での役割りなのか、ではどういう事をやったらいいのかを部内で学習していきたい、会員の皆様方に、提案できるものがあれば提案していきたいと思っております。結果として何にもできなかった時は、阿呆な部長に任せなあと、この一年をあきらめていたみたいです。

行事としては、学級代議員研修会、父親参観、この二行事を中心にやっていきますので、御協力をよろしくお願いします。

### 頑張ります

生活部長

高見利則



本年度、私が生活部部长を、お引受けすることになりました。

生活部は、殆どの方が町内代議員さんですので、何かとたいへん忙しいとは思いますが、協力慈愛部員一同、頑張ってくださいと思います。

六十一年度生活部活動として、まず最初に、生活標語作成、夕食のひととき、親子のふれあいを基に、よいアイデアを期待しております。七月に町内訪問を実施致します。本年度は、一日四町内、一週間の予定です。多数の御参加をお願い致しまして、学級部会とは又違った有意義な町内訪問を開催し、子供達に楽しい学校生活を過ごさせてやりたいと思います。

冬休み補導は、十二月二十五日より三十日、一月四日より七日まで実施致します。最後に初市巡視を三月三日より十日まで行い、三小の子供達が非行に入らない様、見守ってやり、心身ともに健やかに育ってほしいと思います。

会員皆様様の御協力をよろしく御願ひ致します。





# 楽しい 体育行事を

体育部長

児玉勝利



六十一年度育友会活動が、すでに行われております。

前年度に引き続き、体育部長を仰せつかり、新たな気持ちで体育部一丸となって活動していきたいと思っております。

年間行事といたしまして、

- ①フットベースボール、ルール説明会(6月)
- ②校内球技大会(7月27日)
- 男子一壘丘公園にてソフトボール
- 女子一三小校庭にてフットベースボール

- ③土俵の整備(8月下旬頃)
- ④親子スポーツの日(9月14日)
- 男子一相撲、女子一お母さんと共にフットベースボール
- ⑤三小運動会参加
- (父兄の町内対抗リレー)
- ⑥町内対抗バレーボール大会

(十月)

その他、市教委主催のフットベースボール大会や、相撲教室及び相撲大会等については、積極的に参加したいと思っております。

子供クラブ活動推進委員会では、皆様のご協力とご理解をいただき、町内の分割合併を行っており、大部平均化してまいりましたが、町内育友会におかれまして、問題がある場合は、代議員さん等と話し合いの上、進めて行きたいと考えています。

育友会皆様のご理解とご協力をお願い致しまして、本年度行事がより意義あるものにならぬと思っております。

## 子どもの 安全を願って

交通部長

熊本勇治



今年の交通部の行事は、去年と同様、自転車点検、運動会時の交通指導、自転車教室、それに五日の交通指導を各町内の育友会の

## 子供達といっしょに 各町内をきれいに

環境部長

阿比留 寿海



今年度の環境部の活動として、次のことを計画しております。校内では、

方々をお願いしたいと思います。自転車点検は、各自転車店さんに協力をお願いし、整備済の車はTSマークをはるようにならぬと思っております。運動会の際は、校内にバイク・自転車の置場を指示し、整理整頓をやります。

自転車教室は、島原自動車学校のコースを借り、自転車の乗り方の指導を行い、その後、乗り方のコンテストを計画しています。

私も、交通部ははじめてで、何かわかりませんが、副部長の川口さん、それに交通部員さん達と力を合せ、一生懸命やりますので、育友会の方々の協力を、よろしくおねがいします。

一、プール周辺の整備及び草とり作業。

二、九月十四日予定されている町内子供クラブ相撲大会にそなえて、体育部合同で土俵の整備。

運動用具等のペンキ塗り作業は、今年三月三十日に、前環境部長さんを中心に、江崎前校長先生、転任されました松尾先生方の協力です。きれいに整備されていますので、今年度は、省略させていただきます。

校外においては、

一、六・九月に予定されている市民清掃への協力。

二、ゴミカンの点検及びゴミの定期的收拾を子供達といっしょにする。

以上二点においては、町内代議員様にナイロン袋を配布します。子供達といっしょに汗を流して各町内をきれいにお願いします。以上の事を計画しておりますが、環境部役員だけではなく会員皆様方の御協力をお願いいたします。

## 健やかな 成長を願って

保健給食部長

松崎 由美子



親として子どもたちが健やかに成長するためには、学校給食を含め、毎日の食生活には特に心の深いことだと思っております。

私自身、これまで無頓着に過ごしてきましたが、これを機会にもう少し子どもたちの健康管理について考え直してみる必要があるようです。

部の行事としましては、六月に給食試食会、二学期に保健関係の行事、三学期に料理講習会を予定しております。

三小育友会員になり十一年になります。が、代議員としては経験が浅く、不安でいっぱいなのですが、保健給食部長をお引き受けすることになり、とまどっています。

健康促進に対する意識を深めるべく、池田先生はじめ、部員の方々とともに努力していきたいと思っております。一年間よろしくおねがいいたします。

給食と言いますと、私事ですが今、高二の長男が低学年の頃、偏食がひどく、給食にとっても悩ま

# が ん ば

島三小育友会報  
発行部  
広 報 部

【第86号】



## 平和を願って！

社会科見学

## 家庭、学校、社会の中で

育友会長 小島 健一



昨年度に引き続き、再び会長の大役を務めさせていただくこととなりました。しかし、会員の方々をはじめ、学校、地域社会の皆様方のご協力なしには、何ら実行に移すことは出来ません。

変らぬご指導とご協力を、お願い申し上げます。

先日読んだ本の中に、「教育とは、人と人が触れ合うなかで、互いに影響しあいながら人間形成を続けてゆき、その過程で人間的生活感情を共有しあう営みである。」とありました。

子どもは、学校で先生と同級生との触れ合いのなかで、知識技術を習得し、家庭では父母、兄弟との日常の触れ合いのなかで基本的な

人格(個性)を形成します。また地域社会では、同級生や年長者、年少者の間で、遊んだり、いたずらをしたりしながら創造性(やる気)を培うと共に、社会の一員として互いに決められたルールを守ることの大切さを学んでゆきます。

物事を正しいか否か、判断する力、正しくないと考えれば、それを阻止しようという勇氣、また経済的な豊かさと人間としての豊かな生き方との関係などを深く考える姿勢——これらの能力の養成は、家庭、学校、地域の、全生活をとおして、いわば人間全体として、健全に成長するように配慮されてはじめて可能な訳です。

このような役割を果たすものとして育友会の存在は重要、かつ必然的なものと考える次第であります。重ねて皆様方のご協力をお願い申し上げます。